



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

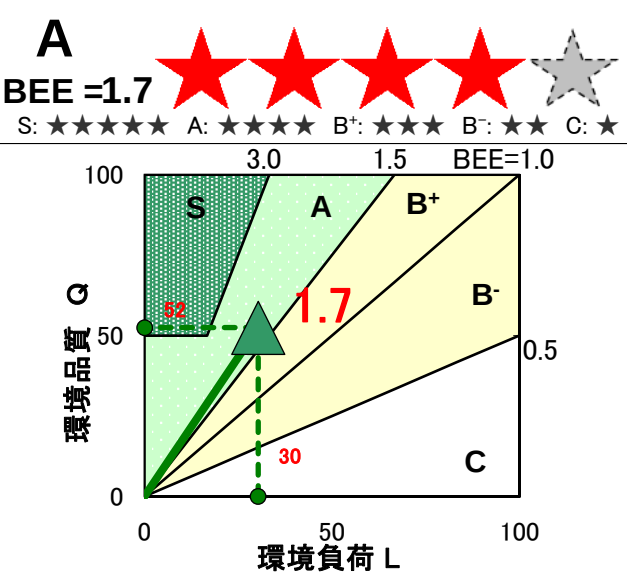
1-1 建物概要

建物名称	大阪市淀川区十八条二丁目 物流施設計画	
建設地	淀川区十八条2丁目 淀川区十八条3丁目	
建築用途	倉庫業を営む倉庫	
建築主	阪急阪神不動産(株)	
設計者	(株)ナカノフード建設	
敷地面積	7,784.87	m ²
建築面積	4,263.39	m ²
延床面積	16,978.23	m ²
構造/階数	S造	/ 地上5階
完了年(予定)	2026年2月	

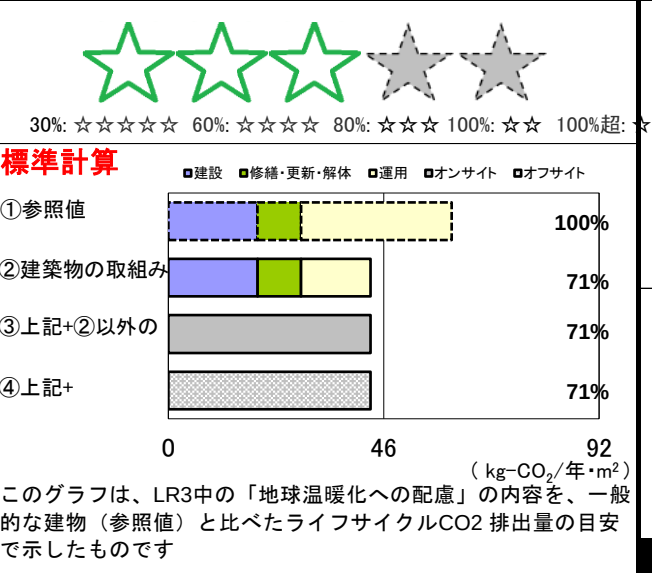
1-2 外観



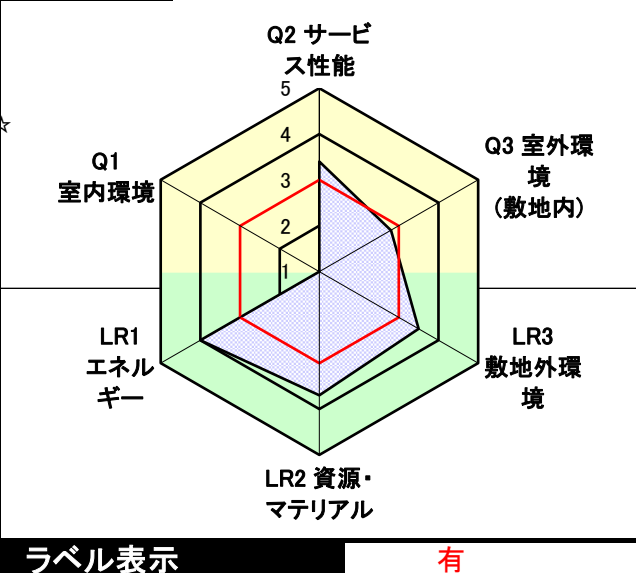
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



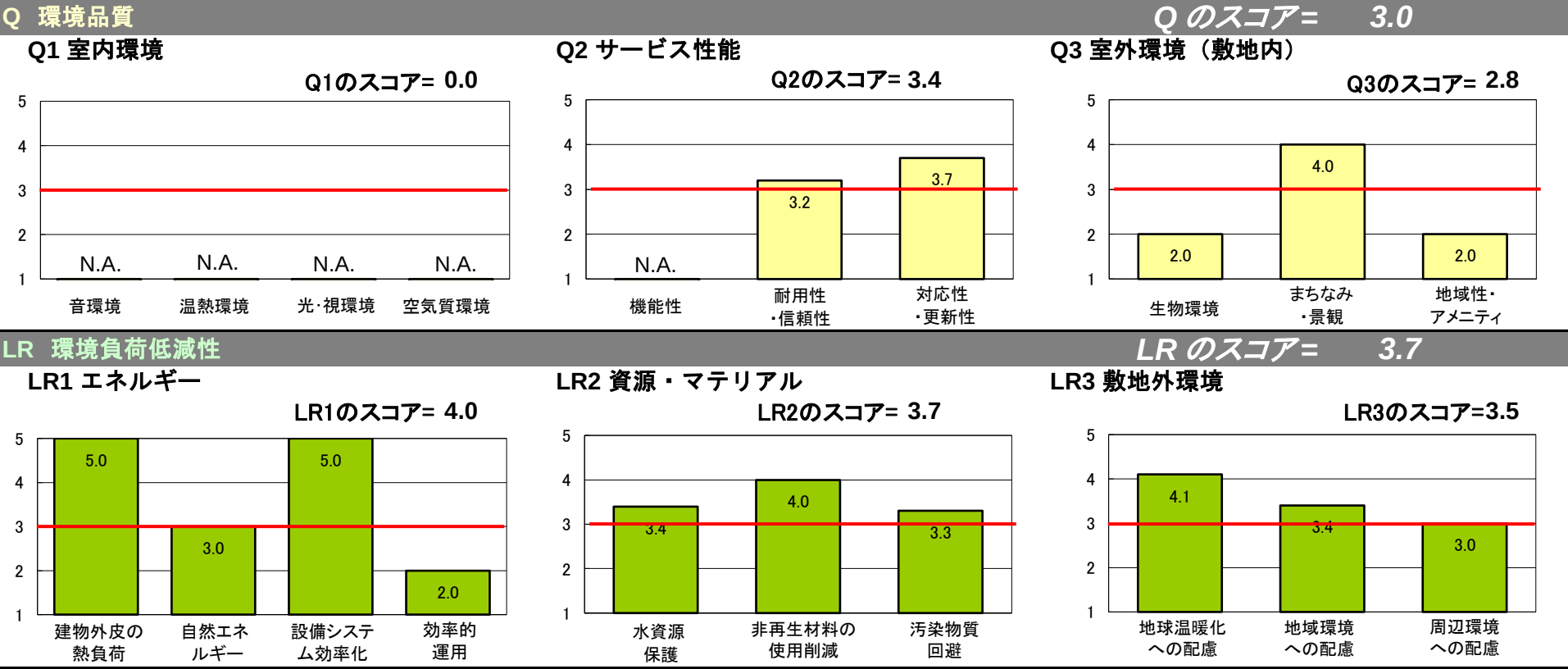
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 大阪市淀川区に建設される倉庫の計画である。道路境界線沿いに植栽を配置することで、良好な景観の形成に配慮している。また、節水機器やリサイクル材の採用、高効率設備による省エネ性能の向上で、地球環境に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 対象外。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い外装材、配管材料を採用し、建物の維持管理に配慮している。また、壁長さ比率に余裕を持たせ、ゆとりのある計画とし、機能性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 景観届を提出しており、外観の色彩や位置の配慮を行っている。また、外観パースを作成して景観検証を行うなど、まちなみに配慮している。
LR1 エネルギー LEDなど高効率の機器を採用することで、BEIm値の低下に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用や再利用できるユニット部材の採用、使用材料を削減することで、省資源に配慮している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。また、適切に駐車場を配置し、車両出入口の幅等に配慮することで、周辺道路の渋滞緩和に寄与している。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.7

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.1
配慮事項	燃焼機器の採用なし。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	特になし。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	断熱性の高い建材を採用している。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	照明はLEDなど高効率の機器を採用している。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPI _m]	
	対象外 (相当)	0.69	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	0.46	-	0.46